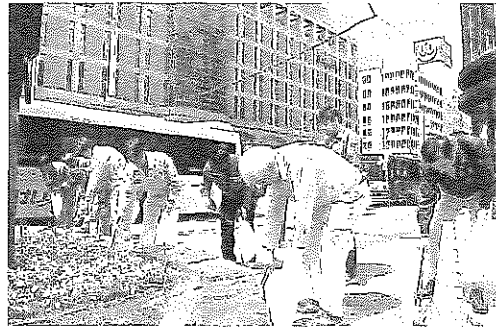


令和6年5月24日 西日本建設新聞

安全・安心なまちへ

県電設協

熊本中心街で道路清掃



熊本県電設業協会（松尾修一会長）の29回目となる道路清掃作業が18日、熊本市中心街の熊本高森線で開かれた。市協定に基づく「道路ふれあい美化ボランティア

活動」で、会員企業の社員とその家族ら145人が参加。4班に分かれ、

白川の大甲橋から坪井川の桜町橋まで（1.5キロ）の歩道や植樹帯に捨てられたごみを約1時間かけて拾い集めた。

作業前の出発式で安全福祉委員会の野口和隆委員長（タイヘイテクノス）は「毎回活動ができるのも皆様のおかげ」と参加者に感謝し、「きれいな街は犯罪の防止にも繋がる。これからも安全・安心なまちづくりに貢献していきたい」と挨拶した。